

報道関係各位

千葉市内の小学校でソーラーシェアリングの出張授業を実施

2018年12月5日

千葉エコ・エネルギー株式会社

千葉市の小学校でソーラーシェアリングの出張授業を実施

千葉エコ・エネルギー株式会社（代表取締役：馬上丈司、本社：千葉県千葉市）は2012年に設立された千葉大学発ベンチャー企業です。地域への自然エネルギーの普及や持続可能な社会作りを目指し、千葉市内で農業参入を果たした他、全国でソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）に関する総合コンサルティング事業を展開しています。2018年11月13日に、千葉大学教育学部附属小学校にて、ソーラーシェアリングに関する出張授業を行いました。

記

日時：2018年11月13日（火）

場所：千葉大学教育学部附属小学校

参加：上記小学校5年1組の児童 計35名

内容：持続可能な再生可能エネルギーとして弊社が取り組むソーラーシェアリングについて



1. 授業内容

今回の出張授業に至った経緯としては、教員の方より、小学校5年生の社会科の授業で、農業・漁業・工業・エネルギーと、日本の各産業を勉強している中で、「ソーラーシェアリングを持続可能な再生可能エネルギーのひとつとして生徒達に授業の一環で教えたい」とお声掛け頂き、機会を頂戴しました。授業では、持続可能な再生可能エネルギーとして、弊社が取り組むソーラーシェアリングに関する概要やソーラーシェアリングを含めた自然由来のエネルギーの有用性、地域がエネルギー生産に参画できる仕組みなどについて授業を行い、その後児童からの質問に答えました。授業の際に紹介したソーラーシェアリングの模型を見た児童からは、「どれぐらい発電するのか」、「将来的に設備はどうなるのか」、「どのような作物を作っているか」など、一般的な再生可能エネルギーに関する質問から農業に関する質問まで、多岐にわたる質問が挙がりました。参加した児童は、積極的に手を挙げており、再生可能エネルギーや環境問題に対する強い関心を伺うことができました。

2. 背景

私たちは、「自然エネルギーで地域の未来を拓く」をミッションとして2012年に創業しました。地域の未来のため、そして人が生きていく持続可能な社会づくりにはエネルギーと食料という要素は欠かせません。ただ、自然由来の再生可能エネルギーを生産するだけではなく、そのエネルギーを効率的に利用したいと考えており、その一つの取り組みが農業です。

今回、ご縁があり千葉大学教育学部附属小学校でソーラーシェアリングについてお話する機会をいただきました。農業は仕事としてあまり魅力的に映らず、農業者人口は減少の一途を辿っております。しかし、ソーラーシェアリングの設備下で行われる農業は、従来の農業のイメージとは異なる次世代農業になっていくと考えております。将来的には、再生可能エネルギーを上手く利用し、食料とエネルギーを生産する次世代農業を実現し、子供達のなりたい職業に「農家」をランクインさせること目指していきたくと考えております。

農業は、社会に必要な重要な産業です。「エネルギー×農業」という新しい仕事の形を今回の小学校へのお出張授業を通してお話する機会を頂いたのは、弊社にとって非常に意義のあることであり、今後も出来る限り協力させていただきたいと考えております。授業や様々な取り組みを通して、農業やエネルギーに対して興味関心を持ってもらい、将来の可能性や新しい面白さを感じて欲しいと考えております。また、今回授業の機会を設けてくださった千葉大学教育学部附属小学校の皆様には感謝申し上げます。

【こちらで農作業を行なっております】

千葉エコ・エネルギー株式会社 大木戸圃場

2018年4月より、千葉県千葉市緑区大木戸町にて、農業を開始しました。ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）設備の下では、サツマイモや里芋などの栽培を行なっています。



JR外房線 土気駅より車で20分

■会社概要

商号 : 千葉エコ・エネルギー株式会社
代表者 : 代表取締役 馬上 丈司
所在地 : 千葉県千葉市稲毛区弥生町2-15 西千葉浪花ビル3F
事業内容 : 自然エネルギー事業化支援, 自社発電事業, 農業
URL : <https://www.chiba-eco.co.jp/>
TEL : 043-301-6998
Email : contact@chiba-eco.net

■お問い合わせ先

千葉エコ・エネルギー株式会社 儀同 千弥/岡田 篤
TEL : 043-301-6998
Email : contact@chiba-eco.net